

〔資 料〕

昭和40年代の生活世界（その2）

—新聞記事にみるアパート団地・ニュータウン・郊外住宅—

西脇和彦

Lifestyle in the Showa Era 40s: Apartment Developments,
New Towns, and Residential Suburbs as Reported in Newspapers

Kazuhiko Nishiwaki

1 はじめに

「近代化」が実質的に庶民レベルの生活に浸透した高度成長期（昭和31年から同48年）における国民生活のメルクマールとして、アパート団地・ニュータウン・郊外住宅に着目し、そこに暮らす一般大衆の姿を当時の新聞記事から引用することにより追体験している。その理由は、「近代化」がもたらした国民生活の先駆的、象徴的な姿が反映されていることによる。本稿では前稿（同タイトル・その1）に引き続き、高度成長期のほぼ後半に相当する昭和41年から48年までの『朝日新聞』（東京版）の記事を扱うが、前稿（『毎日新聞』）に見られた数々の特性、たとえば、ドーナツ化、スプロール化、ベッドタウン、中産階級、新しい意識の誕生…をここでも見いだすことができるであろうか（今後も『読売新聞』『日本経済新聞』と検証する予定）。昭和40年代になると団地力の拡大・深化から、利便性の追求のみならず、問題点や矛盾点も見いだすことが多くなる。筆者はこのような視点から有意味的と考えられる記事（部分）を引用したが、そのなかでも、現代生活にも直結する部分をイタリック表記とした。

また前稿同様に、団地計画ないしは行政上のマクロ的な見地よりも、団地生活それ自体やその生活様式など、メゾ的、ミクロ的な視点を優先して引用したが、記事分量の少ないものは省略した。その引用については、〈シリーズ名〉〔大・中〕見出し〔掲載年月日、年号は昭和〕小見出し、本文にまとめた（なお引用記事の表記は当時のままとしたが、漢数字表記の一部はアラビア数字に改めた）。

2 『毎日新聞』の記事から（前稿、その1）

3 『朝日新聞』の記事から

〔できたぞ「夢の団地」所沢 労働者が1,000戸建設〕（41.3.1 夕刊）

「もう、しんぼうできない。自分たちの手で団地を」と、住宅難に悩む東京都内の労働者が3年がかりで1,000戸の大団地を埼玉県所沢市下新井に完成、さる25日から入居を始めた。設計から管理まで、いっさいを自分たちでやってのけ、入居後も生活協同組合を設立、物価高に対処する。ちょうど、周辺で咲きにおう「こぶしの花」と「労働者の団結でできた」ことから、その名も「こぶし団地」と決った。

（中略）完成した団地は、鉄筋コンクリート2階建。1戸の建物をタテに2つに仕切り、1階はダイニングキ

チンなど、2階に和室2間の2DK住宅だ。しかも、100平方メートルの土地つきで、庭づくりも楽しめる。茶畑や雑木林に囲まれた美しいところで、都心への通勤も1時間余りだ。

[ああ住宅難！「都営」申込み殺到] (41.4.4 夕刊)

うず巻く2万人 パトカーも出る 都の苦手ぎわにカンカン スリも横行

4日朝、降りしきる雨の中を東京都営住宅の空家申込みに殺到した人、人、人…カサ、カサ、カサで、都庁前の歩道がうずまった。午前中にその数ザッと2万人。ぎっしりと埋めた歩道は身動きもできないほどで、パトカーや制服警官まで出動する始末。「この姿を佐藤総理にも見てほしい」と、深刻な住宅難に悩む都民は訴えていた。

<都民もの申す> [勝手に団地の建物改造] (41.4.6)

都営住宅村山団地で、数店舗の仕切り壁がぶち抜かれ、スーパーマーケットにするための内部改造をしている。分譲した当時、案内書にはスーパーマーケットができる予定だとは書いてなかった。関係者に聞いても知らないという。分譲契約の違反にならないか。(西多摩郡福生町・商店主)

[名古屋市の人口が減る 公害のがれ市外へ移転] (41.7.27)

【名古屋】(中略) 34年の伊勢湾台風直後に一時的に人口が減ったのを除けば、戦後初めての現象である。

人口減少の理由としては①市外へ住宅を求める人が多くなった②公害、騒音などの理由から工場や事業所が市外へ移り、それに従って宿舎も移った③不況などの理由で新規採用者が減った、などの理由が考えられる。

[団地っ子に見せる花火大会 商店主の夢実る ひばりヶ丘] (41.8.6)

「仕かけ花火や打上げ花火を見たことのない団地の子どもたちのために、でっかい花火大会を見せたい」という下町生れの商店主の願いが実って、6日夜、「ひばりヶ丘団地内納涼子ども花火大会」が、保谷、田無、久留米の3町にまたがる同団地内で開かれる。

[団地夫人の健康 生命保険会社の集団検診から] (41.8.19)

3人に1人が「要注意」 無関心ぶりに驚く医者

(中略) 明治生命厚生事業団が、この2年間に東京、神奈川、埼玉などの20団地5,428人の主婦の集団検診を行なった結果、団地夫人の3人に1人は「要注意」という答えが出ました。(中略)

この集団検診に立会った東京医科歯科大学助教授の竹内端弥医博は「団地の主婦のこうした訴えの比率が高いのは、運動不足と人間関係のわずらわしさからくる精神疲労が原因だと思います。たとえば、検診にくる服装にまで神経をつかう。外に出れば空地があるのに、狭い家に閉じこもって散歩もしない。子どもといっしょに日光に当たりながら、ナワトビをしたり、キャッチボールをするだけでも、こうした訴えの半分は減るはずで。それに、団地もこれだけマンモス化しているのだから、主婦のために常設の医療施設も作られるべきでしょう」と当局にも注文をつけています。

[団地自治会真二つ 消毒もバラバラ 八王子長房] (41.8.26)

頭抱える市衛生部

団地の自治会が意見の食い違いから対立した—よくあることだがそのとぼっちりで日本脳炎予防の薬剤散布までしっくりいかず、あいだにはいった市役所がネをあげている。八王子の都営長房団地での話だ。

[“団地の飲み水に油” ひばりヶ丘] (41.9.16)

東京・北多摩郡の保谷，田無，久留米3町にまたがり，かつてモデル団地といわれた公団ひばりヶ丘団地(約2,700世帯，1万人)で「油のまじった飲料水問題」が起り，同団地自治会(佐藤安政会長)は15日「私たちは油を飲まされていた」というパンフレットを公団側の居住者に配り，責任追及にのり出した。

[『社宅』よりも『持家制度』] (41.10.23)

宅地分譲や低利融資 各社地価高で方針がえ

サラリーマン住宅の象徴だった社宅づくりが，大都市周辺の地価暴騰で行詰ってきた。おまけに退職金の一時払いから年金への移行で，サラリーマンの住宅づくりは深刻な課題。「勤めている間にこそ家を建てよう」と，このところ民間企業の間で従業員に家を持たせる動きが目立ってきたのもそのためだ。

(中略) 企業が従業員のために長期の住宅融資ばかりか，宅地の開発，造成，分譲までやるというのは，余りにも日本的な姿といえよう。

[不人気な分譲住宅 船橋と立川 無抽選も出る 公団が再検討] (41.10.27)

(中略) 4，5倍の申込みを予想していた公団側は不人気の原因について①頭金100万円を出せる住宅困窮層がだんだん減ってきた②いずれも東京都心へ1時間余かかる③とくに千葉県方面は不便だという先入観がある④せまいことや間取りの不满が多い⑤PRが不足，などをあげている。

[買って下さいお願いします 都の村山分譲宅地] (41.11.20)

交通不便，半分売れ残る

(中略) こんなにソッポをむかれた原因は，環境がいいといっても，交通の便が悪く，都心から遠すぎるごと。(中略) なにしる電車やバスの回数が少なく，都心まで最低1時間半，まず2時間は必要。

(中略) いかにも，この交通機関の劣悪さを知って，現場を見にきた人は考えこんでしまい，買うのをやめるのだそうだ。

[やればできるさ マイホーム] (41.12.6 夕刊)

運転手さんグループ 仕事の暇に団地造り

自分たちの家は自分たちの手で一と，東京のタクシーの運転手さんたちが非番の日のハンドルを，カンナやノミに持ちかえ，埼玉県入間郡三芳村の一角に，しろうと大工のマイホーム建設を進めている。すでに5軒が完成，くろうとはだしの仕事ぶりとちょっとした団地の出現に村人もびっくり。

[“サラリーマン住宅” 第1陣 意外の不人気] (42.5.9)

悪かった？ 場所選び 頭かかえる公団・建設省

(中略) 「建てれば売れるという安易さがあったのでは…」 「買いやすさのほかに，マイホームを持つ人の“好み”をつかんでいない」という批判も多い。

[張切る内職ママ 千葉県辰巳団地] (42.6.1)

団地の中に作業所 「楽しくて，お金になって」

辰巳団地は千葉市から車で約20分。海岸埋立地に進出した日本の代表的な大企業の「企業団地」だ。2300世帯，約1万人が住んでいるが，今なお建設途中という“怪物”である。(中略)

教育費に，生活，レジャー費にと目的は様々だが，団地ママの「かせぎますわヨ」の意気込みは高く，辰巳団地はいま“文化大革命”のさなかである。

〈赤字と黒字〉[野菜値下げに一役 東京近郊に民営大型市場] (42.6.1)

「都心から離れて、畑に近づくほど、野菜の値段が高くなる。こんなバカなことってありますか」—東京近郊の、ある団地に住む主婦の声だ。近代化の遅れている流通機構の中で特に古めかしさの残る市場、爆発的にふえる首都圏の人口、殺人的な交通ラッシュ—これらが重なりあって“バカなこと”があちこちで起っている。最近、東京近郊に民営の大型市場が次々と生れているが、首都圏経済のひずみを補うために、生れるべくして生れたものといえよう。

[守り抜いた15円牛乳 自治会の奮闘この1年 国立市富士見台団地] (42.6.8)

妨害耐えしのぶ 注文、ついに4千本突破

牛乳値上げに対抗する消費者の自衛策“自主配達”が、あちこちの団地で盛んになり始めた。が、実際にやってみると、それほど楽なことではない。業者側のさまざまないやがらせ、手のこんだ逆宣伝。一度始めたら、雨の日も雪の朝も休めない配達。—そんなさまざまの困難を克服して基盤を固め、一周年を迎える自治会牛乳がある。東京・国立市の公団富士見台団地(約2300世帯)の場合だ。

[主婦の生協 みんなの力で実現 横浜市営・十日市場団地] (42.6.15)

用地交渉に日参 商店街の抵抗と戦って

(中略)まわりの商店の抵抗もあってここまでこぎつけるのは楽ではなかった。だが、新しくなるほど、町場から遠く離れるのが団地。十日市場団地の主婦たちのこの根性、同じ悩みを持つ団地の“他山の石”ではなかろうか。

横浜、といっても、十日市場団地の周辺はまったくの田園地帯。畑をつぶし、丘をけずって造られた団地だから、買物は団地マーケット(約20店)だけが頼りだ。夕方には長い行列ができるこみ方で、主婦たちのひとつの悩みのタネだった。

(中略)いまのところ新しい店は130平方メートルの店舗に、60平方メートルの倉庫がつき、2階は集会所、というものになりそう。

[女性ばかりの自治会執行部 千葉市小仲台団地] (42.6.22)

見直された“細腕” 役所を説得して児童館

「団地のことはまかせといて…」—千葉市小仲台団地の“女性ばかりの自治会”は、いまあたるべからざる勢いである。発足して1年半、その実績はまことに目ざましく、この5月には念願の児童館も実現した。「女の細腕が…」と最初はタカをくくっていた亭主たちも、今ではただもう感心するばかり。他の団地から「小仲台の男性はだらしない」と、やっかみ半分の批判が出るほどだ。

[朝食ぬきの小学生 埼玉県福岡第二小の調査から] (42.6.29)

空腹感でヘナヘナ 原因 遅い支度や朝寝坊

埼玉県入間郡福岡町の公団霞ヶ丘、上野台両団地を通学区にもつ同町立福岡第二小学校(斎藤克校長、児童数1675人)で、朝食をたべずに登校、空腹から気分が悪くなり、授業中に保健室へかけ込む子がふえている。

[団地のビルにヒビ 地盤沈下“日本一”の泣き所 武里] (42.12.7)

【春日部】埼玉県春日部市大枝の日本一のマンモス団地、日本住宅公団武里団地センター周辺の地盤沈下がひどく、センター建物に大きな裂け目ができたり、焼却炉が陥没するなど被害が出た。公団草加営業所はこのほど実態調査し、近く補修工事にかかるという。

(中略)同団地は湿地地帯に建てたため沈下はさけられぬという。

[収集に不便で不衛生 団地 使われぬダスト・シュート] (42.12.24)

都営住宅や日本住宅公団、公社アパートに設けられているダスト・シュートは、収集の不便さと衛生管理のむずかしさなどから、実際には使われていないところが多い。「使えないとわかっているのに、なぜこんなムダなものを作るのか」—アパートの人たちや近くの住民で、疑問に思っている人も多い。

[水道・ガス・電灯なし 神奈川県横内団地 入居者らカンカン] (42.12.25 夕刊)

【横浜、平塚】(中略) 引越してきた人たちが「タタミがはいってない。フスマも電灯のコードもない。水道、ガスも出ない…」と大騒ぎになった。なかには「これでは住めない」とふんがいて引越し荷物をおろさずトラックでそのまま親類の家へ向った人もあった。

同県住宅建設課では「1月下旬入居の予定が年内にはいりたいという希望者が多かったので繰上げてあげたのだが、親心がアダになった…」と弁明している。(中略)

入居者の話では、電気、ガス、水道は大部分は正午すぎまでに使えるようになったが、タタミがあるのは6畳だけ、部屋の仕切りはもちろん押入れのフスマもなく、電灯線も6畳と台所に引いてあるだけというところが、約100戸もあったという。

「こんなことならきちんと仕上げしてから入居させてほしかった。これでは人の住める住宅ではなく、ただのコンクリートの箱です」と入居者はカンカン。

<ひととき> [団地集会所でのおつや] (43.1.17)

(中略) とかく団地は自分本位でつめたいといわれるが、この日のおつやで働いている人びとを見て、私は心あたたまるものを感じた。エプロン姿でかげの部屋で働いている人も同じ階段の方がたである。(埼玉県入間郡富士見町鶴瀬団地 中村 房子・26歳・主婦)

<ひととき> [飛んだせんたく物と団地] (43.2.10)

(中略) 風が強かったら、しっかり止めるのが当たり前だろうし、落してしまったら、すぐ取りに行くのが当然だろう。

(中略) 確かに団地というところは他人と交際しまいとえばできるところであるが、やっぱり共同生活の場であり、自由に快適に暮すためには守らなければならない秩序があると思う。そして時には奉仕の気持も。うわっつらの個人主義では決して快適な生活はできない。(千葉県習志野市 匿名希望)

[団地共益費] (43.2.15)

平均4割も値上げ 自治会は反対運動

住宅公団が管理している賃貸住宅を中心とした全国670団地のうち、大都市周辺の76団地で、4月から共益費が平均4割値上げされる。清掃などの作業員の人件費の値上りが主な理由だが、これで月1000円を越える団地も多くなる。

[値上げする団地共益費] (43.3.1)

大半占める清掃人件費 「会計監査に代表を」と入居側

いま、いくつかの住宅公団の団地で、共益費の値上げが問題になっています。共益費とは、家賃と別に団地内の道路、芝生、樹木といった共用部分の清掃や、ゴミ、下水の処理などに使われる費用のことです。

[道遠い“持家” 建設省調査] (43.3.1)

宅地暴騰、年2割も とくに「都心80分圏」

(中略) 都心までの鉄道所要時間が5, 60分のところにくらべて7, 80分のところが著しく値上りし, 1平方メートル当り1万円以下の土地は所要時間1時間20分以上でないと見つけにくくなっている。沿線別では東武東上線, 中央線沿線の値上りが目立ち, 東武日光線, 常磐線, 東武野田線方面が比較的安いという。

[宅地 売れ行き急上昇] (43.4.28)

換物ムードが拍車 インフレ懸念 地価も1年で30%高

大都市周辺の宅地の売れ行きが, このところ, ぐっとよくなっている。(中略)

(中略) 宅地の売れ行きが最近急増している理由について, 不動産業界や金融筋は, 個人所得が向上したこと, 住宅ローンが普及したことをあげているが, このほか, 一連のドル不安騒ぎでインフレ懸念が強まっている点を指摘する向きも多い。どうせ買うなら, 借金をしてでもいまのうちに手当しておこう, というわけ。

<ひととき> [やっと手にした住宅地] (43.5.21)

(中略) 毎日, あふれるばかりの土地広告をながめると「地価値上り急ピッチ」の文句にせかれるようにでかけたものだが, 田園都市とは名のみのハゲ山。バス停前というのが停留所を見おろす山の上だったり, ずいぶんとあきれたものだ。(横浜市南区笹下町 酒井 和子・34歳・主婦)

[団地の主婦は働き者] (43.5.30 夕刊)

国民生活研の調査 3割弱が共かせぎ・内職

「団地の居住者は平均1時間10分という長い通勤時間をかけて働きに出ているうえ, 共かせぎや主婦の内職などで収入を補っている世帯が30%もある」—国民生活研究所(浅野義光所長)は29日, 首都圏内にある団地について調べた結果をこうまとめた。

このような大がかりな調査はこれがはじめてである。また世帯主の学歴は高く, ほとんどが30—40代, 夫婦と15歳未満の子ども, 月給は4—8万円の中所得層—というのが, この調査の結果でわかった団地居住者の平均像だった。

[マイホームの喜びもつかの間] (43.5.31)

害虫, 床に巣くう 入居1年半で穴だらけ 国分寺市のけやき台団地

(中略) シロアリと並んで家屋の大敵ヒラタキクイムシが巣くったのだ。

(中略) 団地の半分以上にヒラタキクイムシが現れ, 床の落ちた家も出た。ピアノに穴をあけられた家もある。結局公団はすこしでも被害の出た家の床板は, 全部はりかえることにした。

[ソッポ向かれた3DK 公団花見川分譲住宅] (43.6.28)

500戸に申込み1割 駅に遠く「バス見込み」

花見川団地は, 京成成田線八千代台駅から歩いて20分のところ。入居時にはバスが開通する見通しといい, 3DK 510戸, 3LDK 130戸。稲毛海岸団地は京成線京成稲毛駅から歩いて8分で, 3DK 10戸。いずれも鉄筋5階建である。この稲毛は, すでに4.2倍の申込みがあるのに比べ, 花見川の方は3LDKが114人で0.9倍程度。3DKとなると61人でわずか1割ちょっとという有様だ。

[安い土地にひかれ 危険地帯に続々と住宅] (43.7.1 夕刊)

厚木基地付近 入ってから苦情

ジェット機が屋根すれすれに飛ぶ基地のすぐそばで, サラリーマンのマイホームづくりが盛んに進められている。東京, 横浜のベッドタウン—神奈川県大和市の米海軍厚木基地の滑走路周辺。“危険地帯”で, 地価が

安いからだ。そこに目をつけて悪質不動産業者も暗躍する。事情を知らぬ人たちは、きょうも“危険な空の下”に流れ込んでくる。

[曲りかどの公団分譲住宅] (43.7.6)

「遠くて狭い」はご免 建てれば…の時代去る

(中略) 分譲住宅の不人気は、都心部からの距離、間取りの狭さにほぼ比例している。遠ければ広いものを、狭ければ近いものが望まれる。それが、ついに花見川で、入居者ががまんできる限界を越えたともいえる。しかも、これはやがて全国的な傾向になりそうだ。分譲住宅はもはや“建てさえすれば”の時代ではない。公団の戸数消化主義が、反省を求められる時がやって来たのだ。

[公団に6項目の要求書提出 ダニ騒動の鶴川団地] (43.7.16)

ケナガコナダニをはじめ7種類の「ダニ攻め」にあっている町田市公団鶴川団地自治会(高野和洋会長、約1700世帯)の代表や主婦など29人が15日、公団東京支所に押しかけ「早急なダニの駆除、物的、精神的な被害補償」など6項目の要求書をつきつけた。

[ブーム呼ぶマンション 地の利・月賦制度が魅力] (43.8.23)

(中略) マンションといえば原宿、青山、麴町などと相場が決っていたものが、いまはどんどん郊外にも進出、埼玉県川口、大宮、神奈川県藤沢、都下小金井、国分寺あたりでも目白押しだ。

[ひどすぎたヘリ騒動 都営辰巳団地] (43.9.14)

入居早々“脱出計画も” ひきつけ、不眠症が続出 都は説明済みというが

さる8月はじめから入居が始った江東区辰巳1丁目の都営辰巳団地の入居者たちは、隣接の都ヘリポートから飛込んでくるヘリコプターの騒音がひどく、約3分の1の約500戸が空家のまま。(中略)

おまけに、団地わきを埋立地まで貫通する都道も連日連夜、ゴミ収集車や建設機械を運ぶダンプなどが突走っており、これらのふりまく悪臭、騒音のダブルパンチをまともに受けて、入居者たちのいらだちは増幅されるばかり。

[東京郊外 危険な中小河川 急な都市化で流量増加] (43.9.16 夕刊)

東京郊外に流域を持つ中小河川は、郊外の都市化の影響で雨の時の流量がふえ続けている。田畑に家が建ち、舗装が進むにつれて、雨が地中にしみ込まなくなり、側溝を通して川に注ぐためだ。

<ひととき> [何も言わない団地の生活] (43.11.2)

(中略) 山ほどある不満を、私のまわりの人達は、決して口に出して言わない。(中略) なぜだろう…なぜなら、今、私達は、2DK、あるいは3DKの住いが与えられたことに、言葉にならないほど感謝しているからだ。やっと、家の中に、水道と便所のある生活ができるということが、神をおしいただくほどありがたいことなのだ。そして、まだまだ、私達の住いを、うらやむ人が、大勢いることも知っている。だから、幸運にも、住いが与えられたことで、他の苦しみや、不都合なことを、心の中で帳消ししているのだ。(東京都江東区深川 大田 洋子・事務員・20歳)

[高層住宅での火事 どう逃げたら安全か] (43.11.27)

こわいのは火より煙 物言うふだんの準備

(中略) 団地などアパートの場合、恐ろしいのは火災よりも、むしろ煙だ。

[分譲地を一斉調査 1都7県建築Gメン出動] (43.11.30夕刊)

(中略)これは分譲住宅、同宅地にインチキや違法はないかを係員が目と足で確かめ、誇大広告や無届け建築などをしている、マイホームの敵を摘発しようというもので、ことし2回目。

[団地のエレベーター 停電が“盲点”] (43.12.6)

7人カン詰め30分 赤羽台

非常電話も応答なし 非常ベル ボタンが高く子供は届かぬ

[“夢の団地”も不満だらけ] (43.12.29)

通勤不便、商店もなし 西上尾団地 学校作りも遅れそう

団地内の道路などはまだ工事中だ。歩道に使われる敷石もあちこちに山積みされ、工事用のローラー車が大きな音をたてて走っていく。また建物の周囲には芝生が全然ないどころか緑らしいものをはじめ、草一本ない、まさに“アメリカ西部の新興開拓地”なみのところだ。道路は雨が降ればドロコ。天気がよい日に少しでも風が吹くと、こんどは“きなこ”のようなホコリで目もあけてられない状態。(中略)

団地内に学校がないため子どもたちはドロコ道を40分も歩かないと小学校へ行くことができない。しかも交通量が多いのでかなり危険だ。

[マイホームの夢を食う] (44.4.18夕刊)

悪質業者23社手入れ「都心から40分」が2時間

[火事がこわい建売団地] (44.4.28)

消防車通れぬ道路 過密…危険は承知の上

軒がふれあうばかりにひしめきあって建つマイホーム群。強風の日、火はたちまち20むねを焼きつくし、2むねを半焼一さる21日午後、都心まで45分という埼玉県入間郡三芳村の新興住宅地で起きた火事は、防火施設も不備な無秩序建売住宅のもろさをはっきりみせつけた。(中略)建売住宅もピンからキリまでであるが、国の不十分な住宅政策から庶民の手に届くのは“マッチ箱クラス”。これらがずらりと並んだ街並みは“ハチの巣住宅群”などと呼ばれているが、都内、とくに周辺部のいたるところにぞくぞく生れている。

[お産に悪い団地の5階] (44.7.14)

上り降りが響く 死産は全国平均の倍 名古屋で調査

最近、団地にふえたエレベーターなしの鉄筋5階建に対し、一部の病院や保健所などが5階住いは妊婦のからだに悪いと指摘していた。

[マイホーム足踏み 地価上昇がブレーキ] (44.7.18)

ここ数年、順調に伸びていたマイホームの建設が、43年度でついに足踏みした。同時に、平均床面積の伸びもとまった。建設省は「地価の値上がりが激しく、普通のサラリーマンの収入では、庭つき住宅がむずかしくなった現れではないか」と悲観している。

[欠陥アルミサッシにも…住宅公団] (44.8.4)

雨もり被害が続出 分譲団地

丈夫で、しかも美しいと、日本住宅公団が42年以降の分譲団地で、全面的に採用したアルミサッシとその施工方法に欠陥があった。このため雨もりの被害が続出し、団地によっては半分以上も雨もりする有様。公

団側は「不可抗力だ」といっているが、放っておかず、年内に規格を改める。

[きらわれた“イーストサイド” 公団大島4丁目団地] (44.8.10)

空家がまだ600戸 高い家賃、周囲は工場

(中略) 同団地は、公団が進めている面開発市街地住宅の1つ。江東区の工場跡地に最高14階建の高層住宅が7むね建てられている。通勤時間は東京駅まで約30分。

家賃は2DKで21800円—22400円、2LKで26300円—28100円。郊外団地では3DKでも20000円以下だから、かなり割高だ。

[これではたまらぬ庶民の暮し] (44.9.10)

45年度から、月収10万円以下のサラリーマンは、住宅公団の高層住宅に住めなくなる。8—9万円でやっと入居資格ができる郊外の中層(5階建)は、建設戸数が減る。分譲住宅も、現在の400万円前後から一挙に6—700万円へ。公団住宅は、ますます大衆から遠くなる。

[多摩ニュータウン 丘はくずしたが次々難題の山] (44.10.6)

学校新設まず暗礁 センター構想でも対立

40万都市・多摩ニュータウン。造成工事はようやく本格化し、緑の南多摩丘陵が姿を変えはじめた。首都圏の住宅難を打開するのがねらいだ。公害も、交通事故もない、そして、きれいな空気と緑をふんだんに残して…。

(中略) しかし、来年夏の第一次入居を前に、ニュータウンの性格など基本的な点について未解決の問題もあり、これが工事の進展をさまたげている。

[分譲地の抜打ち調査 思った通りのインチキ] (44.11.10)

逃げ出す女子事務員 「責任者? さあてどこかな」

「貴方にピッタリ 歩いて下さい! 駅から舗装道路…楽ですよ」。住宅難に悩む人の心をぎゅっととらえるチラシ広告—建設省は9日朝、全国一斉に分譲地の抜打ち調査をおこない、都庁からもGメンが3班にわかれて繰出したが、チラシの文句とは大違いのデタラメぶりが目立った。

「池袋まで28分」はヘリコプターでも利用しないと無理、それにどの案内人も身分証明書を持っていなかったし、なかにはコソコソ逃げ出すものもいるなど、この日はまるでタヌキがいぶり出しにあったみたいだったが、どうしてこうも悪徳業者がはびこるのだろうか。

[団地住民がカユイカユイ 南京虫が大発生 船橋] (44.11.18)

【千葉】千葉県船橋市高根町にある日本住宅公団高根台団地で、南京虫が大発生し“カユイカユイ騒動”が持上がっている。同団地自治会は「早く大消毒をしてもらいたい」と公団側に交渉しているが「公団の責任でない」と冷たい返事。日夜、南京虫に悩まされている住民たちは「早くなんとかして…」と訴えている。

[団地のゴミに乳児死体 町田] (44.11.18)

出産間もなく捨てる? 残飯集めの牧場で発見

(中略) 同署(相模原署)は乳児を捨てた、とみられるゴミ捨て場の所在地が町田市境川の境川団地なので、町田署と協力、乳児殺し事件として捜査をはじめた。

(中略) 話を聞いた団地住民は驚くばかりで「小さなアパートからようやく移り、すぐにも子どもがほしいくらい。この人たちがそんな残酷なことをするものですか」「よそから持込んだんでしょ」と主婦たちは口々に話合っていた。

“母性喪失”の時代 乳幼児受難 世間も慣れっこ

最近の女性は、母親としての感受性がマヒしているのではないかと作家佐藤愛子さんは、次のように述べている。

(中略) このごろはイヤなこと、面倒なものは容赦なく切捨てる母親が多いらしい。(中略) “パパ抜き”ということばが一時、はやった。ゴミの中に赤ん坊を捨てる気持も、あれと同じところから出ているので、わたしたちにはおそろしいことに思える。

[欠陥団地 DKの天井バサリ はいってわずか半年] (44.11.22)

町田市の都住宅供給公社境川団地(2230世帯)35号棟1階103号都交通局職員平井経孝さん(52)方で19日、ダイニングキッチンの天井の白壁が3分の1も崩れ落ちた。この5月に入居したばかりの平井さんは「あんまりひどい」と同公社管理人事務所に届けた。

(中略) 今年7月同団地で雨もり騒ぎがあり、自治会でアンケートをとったところ、「ひび割れ」「雨もり」「床のきしみ」「すき間風」…およそ鉄筋コンクリートの建物に似つかわしくない届け出が続出した。

[家主になる農家 アパート造りの東京・町田南農協] (45.2.19)

先祖伝来の地、売りたいばかりに…手放さず団地に

[千葉の湖北台団地 建てればの時代去りました] (45.4.10)

通勤2時間、タクシー500円ではネ

住宅難きびしい首都圏で、新しい団地ができたのに当選者からキャンセルが続出し、日本住宅公団は「入居者を再募集しなくては…」とあわてている。(中略)

この団地は、我孫子町の中心街から約4キロ離れたところに、山林や水田を切開いて造成された。林や田園地帯を過ぎると、突然鉄筋コンクリートの住宅群が、目の前に開けてくる。「環境良好」の点は公団側もご自慢だが、一番の悩みは“アシ”。

朝6時半、団地を出たサラリーマンたちは成田線湖北駅へ「競歩」を始める。ネクタイを締めながら階段をかけ降りてくる人、食パンをかじりながら小走りの人…ほとんどが東京へ通勤する。成田線は単線だから、上りはラッシュ時でも1時間に3本ほどしかない。

1本乗遅れると必ず遅刻する。我孫子駅で常磐線に乗換え、上野に出るか北千住から地下鉄に乗換える。団地から東京の職場まで1時間半から2時間はかかる。

(中略) 団地を誘致した我孫子町にとっても、この不人気は計算外だった。

[このいじましい団地社会 ダストシュート使用禁止で“三方一両の得”] (45.4.21)

近所との仲乱さずにすむ 住民 苦情を持込まれずにすむ 公団公社

面倒な収集をせずにすむ 清掃当局

「ダストシュート使用禁止」の団地が東京にめっぽうふえた。5階建、あるいは10階以上もの建物に住む人たちが、ダストシュートを横目に、わざわざ外までゴミ容器を運び出している。「無用の長物なら、なくても同じ」と、昨今はダストシュートなしの団地が現れた。

[宅地…“下見シーズン”に先手 悪質15社を捜索 警視庁] (45.4.21 夕刊)

誇大広告やおとり物件 「歩いて7分」実は7時間 新宿区の業者

(中略) こんどの手入力で目立ったことは、主婦が現地を見に行っただまされるケース。書類にハンコを押してしまい、あとで夫がやむなく金を払う、というケースが多かったという。

[遠足に行って…宅地見物 ハイク道ずたずた] (45.5.6 夕刊)

ハイキングコースがいよいよなくなってきた。宅地造成、ゴルフ場、自動車道の開発などのため、つい4、5年前までなじまれていたコースがいまや“死に道”。(中略) 連休、家族連れで野山を楽しむつもりで出かけた人たちが、新興住宅の庭先にひるがえる洗たく物を横目に歩く光景もさらにふえそうだ。

もっとも激しい変化、といわれるのが鎌倉。北鎌倉東慶寺から最明寺跡、十王岩を通過して鎌倉湖へ抜ける代表的なハイクコース「鎌倉アルプス」は、今泉付近で大規模な宅地造成が進んでいるため、断ち切られてしまった。かと思えば、浄明寺宅間ヶ谷から法性寺へ抜けるコースもゴルフ場出現でダメ。(中略) ハイクのはずが、いつの間にか「こんな家がほしいわね」という住宅建設下見のコースとなりかねない。

[おゃ自前で3DKに!? 光ヶ丘団地で建増し騒動 千葉] (45.5.31)

「子の成長で窮屈」住民 公団 許せませんと対策委

【柏】千葉県柏市の住宅公団光ヶ丘団地のテラスハウスで“1部屋つぎたし”がめっきりふえ、住宅公団の調べだと、608戸のうち、200戸以上が“違反建築”だとわかった。公団は「つくっては困ります」と再三警告しているが、業者が骨組みをトラックで運んできて、カセット式にバタバタ組立て、4時間もあればOKという手軽さだけに、このもぐり、なくなりそうにない。たまりかねた公団側で「違反パーゴラ(日よけ)対策委員会」をつくって、取締りに乗出すというが、狭いスペースに閉じ込められた住民にとっては窮余の増築。この争いどう発展するか。

[待った 団地入居 学校完成まで延期を] (45.8.27)

こんな校舎じゃあ かわいそう 横浜市教委

[町田市 団地への給水ストップ 「学校用地」こじれる] (45.9.1)

東京・町田市は、東京都住宅供給公社が団地内の学校用地確保に誠意をみせない、として8月29日、公社町田木曾団地406戸への給水を6時間ストップする強硬手段をとった。幸い給水塔に貯水があったため、入居者に実害がなかったものの公社側は大あわて。

[“騒音団地”はごめんだ 松戸の住宅公団高塚] (45.9.10)

【柏】「3DK、分譲価格320万円、都心まで50分」というキャッチフレーズで売出された日本住宅公団松戸・高塚団地で、当選者の入居辞退が相次いでいる。実際に行ってみたら交通の便が悪かったのと、すぐ前を走る県道の騒音がひどいというのが理由。足の便が悪いのと公害はもうコリゴリというのが、この辞退騒ぎになったようだ。

[“ベランダ温室”OK] (45.9.25)

分譲団地の改築で地裁判決 物干しより美しい

やっと買った住宅公団の分譲アパートも、コンクリートの壁の中。せめてベランダに温室を、と思うのが人情だが、たいがいの分譲団地には“改築ご法度”の取決めがある。そこへ、「団地の美観をそこねず、緊急避難のさまたげにならないものなら許されるべきだ」という判決が24日、東京地裁(奥平守男裁判官)で出た。この判決が確定すれば、賃貸団地は別だが、分譲団地のベランダは温室の“花ざかり”になるかもしれない。

[“労組団地”は高いもの?] (45.9.28)

千葉県労連の米本住宅 平均月収では無理 入居者、一般からも募集

[カラー論争 戸山団地の化粧直し] (45.10.13)

外壁はクリーム、ピンクのひさし、階段室はブルー
夢があって素敵 どこか連込み風

[国の手助けが必要 町田で団地白書発表] (45.10.16)

学校用地の無償提供を要求して団地の給水をとめた町田市は15日、「団地建設と市民生活」と題する団地白書をまとめた。ねらいは、団地ラッシュが市民生活や市行財政に与えた問題点を分析し、こんご市がとるべき姿勢と団地建設のあり方について提言をおこなおうというもの。(中略)一地方自治体による団地白書は全国で例がない。

[分譲団地での生活を考える] (45.10.26)

自治へ積極的に参加を モラルも実情に合わせ

[公団“明渡し”騒動] (45.10.30)

集会所の事務所使用お断り 住宅公団
「家賃値上げ反対への報復」自治会

明渡し要求を突きつけられたのは公団北多摩営業所管内にあるひばりヶ丘、小平、東久留米、久米川の4団地。

[ゴキブリも笑うバラバラ行政 ひばりヶ丘団地] (45.11.4)

3市勝手に薬剤配布 こっちへまけば隣へ“避難”

晩秋というのに、日本住宅公団ひばりヶ丘団地で“ゴキブリ騒動”が起きている。(中略)保谷、田無、東久留米の3市にまたがる同団地は、行政区域が三分されて、薬剤散布1つにしてもバラバラ。思うような効果が上がらないという。

[団地、この無計画入居 学童、春の6倍に 本町田東小] (45.12.18)

(中略)建物が完成すると、教育事情を無視して入居させる公団の一方的態度と、児童数ののびについて読みを誤った市教委の甘さが原因だ。

<ひととき> [私は“団地未亡人”かしら?] (46.2.18)

「待つ」ということがどんなに不安でわびしく、耐えがたい時間であるか、世の亭主族は知らない。(中略)こんな「待つ夜」を私はもうずいぶん経験している。会社までたっぷり2時間の通勤距離に加え、営業という仕事の関係上、大半は午前様。早くて9時か10時の帰宅である。何10回も出しつづけてやっと当たったこの公社住宅ではあったけど、この住いはわが家から一家だんらんの夜のひとときも奪ったし主人の生命をすりへらしているのかもしれない。(町田市木曽町 原野 富紀子・主婦・30歳)

[団地で集団CO中毒 2人死に6人倒れる 長野] (46.3.12)

ガス湯わかし器の不完全燃焼 天井伝い両隣巻添え

[住みにくい新居 多摩ニュータウン] (46.4.9)

荒っぽい商魂 ゴミ収集も来ぬ 隣人はツーン
まだ商店が出そろわないので青空市場に黒山の人ばかり

[自主運行中 住民バス 鶴川団地] (46.5.4)

町田市鶴川団地の「自主運行車」がねばりづよく、休むことなく、走りつづけている。自主運行には、2つの動機があった。不当に高い深夜バス料金を抗議して9カ月間、すでに、のべ約22000人を運んだ。ついで、値上げ反対の意思表示として、これも3カ月間にのべ約20000人。

[“泣寝入りは損ですよ” 公団住宅の共益費値上げ問題] (46.5.8)

粘った団地で引下げ・据置

[道路沿いを“騒音疎開” 上尾市原市団地] (46.5.22)

公団, 15むね空家に 居住者に移転あっせん

[パンク魔, 50台次々に 世田谷の2団地] (46.5.28)

(中略) 27日朝, 世田谷区船橋町の日本住宅公団西経堂団地と, 同区桜上水の同東経堂団地で, 青空駐車中のマイカー50台が, 夜中にキリようのものでタイヤに穴をあけられ, パンクしていた。

[『隣に高層団地まっ平よ』 横浜・洋光台] (46.6.26)

太陽もプライバシーも奪われる 市営8階建に反対 「5階建に削って！」

【横浜】「日照時間の短縮やプライバシーの侵害につながる高層団地は絶対反対」「住宅難を解消するための急を要する建設だから是非とも協力してほしい」—横浜市磯子区の日本住宅公団洋光台南団地の住民と横浜市が, 日照権をめぐる激しく対立している。

[モルタルが降る高層団地 葛飾] (46.6.29 夕刊)

1カ月間に2度も 建って3年 560戸に危険なひさし ずさんな工事, 公団が補修へ

(中略) ひとつ間違えれば人命にかかると, 住民のショックは大きい。

[団地っ子に田舎を贈る 福島県相馬の6農協] (46.7.28)

自治会との提携が縁 家族ぐるみ農家に2泊

「田舎って, やっぱりすばらしいや」。“田舎”を持たなかった東京・町田市境川団地の子どもたちが, 福島県原町市の野馬追い祭に招かれて, たのしい夏休みを味わった。境川団地自治会(2300戸)と同県相馬地方の6つの農協(組合員8000)が, “経済姉妹”の縁組をしたのをきっかけに生れた団地っ子へのプレゼント。(中略) 子どもたちは牛のオッパイの大きさを知り, カブトムシの住みかを見つけて大喜びだった。

[原子炉恐れぬ宅地開発 80メートルそばまで造成工事 川崎] (46.8.14)

【川崎】年々, 宅地造成の激しくなる川崎市北部で, いままで静かな山の中にあった同市王禅寺の原子炉施設のすぐそばに, このほど大規模な民間宅造が始り, 炉の安全性と, 今後, 居住する住民の健康との関係から波紋を呼んでいる。

[4万円公団 民間分譲より割高] (46.9.4)

部長クラスでも二の足?

年々高くなる一方の公団家賃。来年度建設分では「4万円台」が出てきそうだ。ここまでくれば, 民間アパートの家賃と余り変わらないという実感を消しがたい。そこへはいるには部長クラスの収入が必要となり, 平サラリーマンの手は届かない。

[ひさし中ぶらりん 住民こわごわ 町田の公団分譲住宅] (46.9.10)

町田市本町田、日本住宅公団藤の台分譲住宅の階段踊り場にある、重さ約800キロのコンクリートひさしが8日夜、折れて中ぶらりんとなった。(中略)

管理組合では、昨年8月末に入居してから1年の間に壁がはがれたり、床のきしみ、雨もりなど欠陥部分がかかり多いため、公団側に修理を申し立ており、ひさしの折損も工事のミスか、公団の設計、監督のミスではないかと、9日夜、公団東京支所、町田営業所の係員らを追及した。

[もったいない…住めぬ団地 埼玉県の公団高麗川] (46.10.10)

【所沢】(中略) 給水のために掘った井戸から水が出ず、かんじんの飲料水が確保できないとあって、10、11月に入居予定が半年ほど遅れる見通しとなった。このため、立並んだ公団住宅は風雨にさらされて空家のまま。公団の家賃収入だけでも1億円程度の損失が見込まれ、ズサンな上水道計画に批判の声が高い。

[緑と太陽はどこに? 郊外地に市街化の波] (46.11.4 夕刊)

「約束違う」と住民 各地で業者とトラブル

東京郊外の住宅地を“再開発”の大波が洗っている。10年ほど前「緑の中の高級住宅地」「公害もない静かな環境」をうたい文句に、民間業者が売りにだした造成地だ。買ったのは「自然」を求めて、なけなしの金をはたき借金を重ねたサラリーマンたち。それなのに、いつの間にか自然が消え、マンションやビルの建設がはじまり、住宅地が市街地に変りはじめたのだ。「約束が違う」「どこまで開発すれば気がすむのか」と、住民と業者の間で、いま争いが各地で起っている。住宅地とは何なのか、増大する宅地需要と、住居環境の保全とをどう調整すべきなのか。

[地域暖房でポカポカ 札幌市郊外の団地] (46.12.20)

のびのび遊ぶ子ども 料金は月に5千円前後

札幌市郊外のベッドタウンで、公営住宅としては初の大規模な地域暖房がこのほどスタートした。ボイラープラントから各家庭に高温水を配水する仕組みで、暖房用と台所の給湯に使われる。団地内にある2軒の銭湯もこのボイラープラントを利用している。将来はゴミ消却炉の熱も活用する計画で、「熱の効率化、大気汚染防止、さらにゴミ戦争の緩和にも」と同市ではご自慢だ。

[公団への給水断る 埼玉県日高町 高麗川団地ピンチ] (46.12.23 夕刊)

【所沢】「水の出ない団地」で問題になっている埼玉県入間郡日高町の日本住宅公団高麗川団地が最後の頼みにしていた同町営水道の給水がこのほど同町から断られ、暗礁に乗上げた。

[宅地開発モーレツ規制 八王子] (47.4.1)

小学校用地提供や寄付金 業者に義務づける “鎖国政策” と業者反発

[団地建設もうやめて] (47.4.11)

人口増、困るだけ 千葉県が公団に申入れ 大企業の宅地開発もお断り
東京のベッドタウンとして千葉県に団地は続々出来ているが…

[団地ラッシュ 学校はパンク寸前] (47.4.19)

プレハブ増設、校庭圧迫 無秩序攻勢に周辺区怒る

「子どもにシワ寄せする、団地の建設お断り」一急増する団地に学校建設が間に合わず、悲鳴を上げている

周辺区で、都営住宅の建設を拒否したり、団地建設に伴う児童の増加率の再調査をはじめたり、あげくはPTAを中心に団地への入居延期を求める運動まで起きている。

[しっかりして！ 団地管理 東京都内で2件の事故] (47.5.8)

“壁が降ってきた” 工事ミス 真下の主婦ひやり 金町
給水ストップ9時間 青戸 職員も原因も“不明”

[連日の断水 怒る団地族 公団青戸第1] (47.5.9)

責任なすり合う 都水道局と公団

[どうした住宅公団 相次ぐ事故] (47.5.20 夕刊)

進むマンネリ化 居住者意識の変化つかめず

東京・多摩ニュータウンでは、ダニが大量発生し住民を困らせているという。また、各地の公団住宅でベランダやひさしが落ちたり、断水したりする騒ぎもあとをたたない。欠陥住宅とはいえないまでも、水道が引けず団地はできたのに入居できない(埼玉県・日高町こま川団地)ところや、バス運行のメドが立たず入居募集を無期延期(千葉市・さつきが丘団地)といった例も最近相次いでいる。住宅公団は一体何をしているのか。

[足なし団地でも一“白バス”はダメ] (47.5.25)

回数券まで発行「便利だったのに」ぼやく住民 横浜・戸塚

通勤、通学バスが不便な横浜市内などで、マイクロバスを使って団地の住民を運び、営業行為をしていた元ハイヤー運転手と、非番の日に日当をもらって運転を手伝っていた私バス運転手ら7人が、数日中に神奈川県警交通部と、横浜・戸部署から道路運送法違反で書類送検される。

[1ヵ月に68枚たまりました 高島平団地 セールス攻勢モーレッツ!!] (47.6.2)

手紙かしら…と、郵便受けをのぞくと宣伝ちらし。客かな…と、ドアをあけるとセールスマン。板橋区高島平のマンモス団地で、入居したての主婦が、毎日イライラ暮している。詐欺まがいの売込みも多く、油断できない。

[保育園の庭にビールビン落下 “カゴの鳥”で自衛 高島平団地] (47.6.10)

板橋区にあるマンモス団地「高島平団地」で、高層住宅の1階につくられた区立保育園の庭に、階上の入居者からビールビンなどが投げられ、「あわや」というケースが相次いでいる。

<ひととき> [団地に住めぬ捨て犬チャロ] (47.7.27)

子どもたちの可愛がっていたチャロが、団地生活のきまりにより捕獲された。(中略) 団地では動物は飼えないことになっている。大人たちはきまりを守らないわけにはいかない。ついにチャロはきょう、自動車に乗って行くことになった。(中略)

動物を飼っている人達にお願いします。どうぞ、子犬や子ネコを捨てないで下さい。(横浜市緑区長津田町小島 雅子・主婦)

[つかの間の夢 団地内の青空無料駐車 高島平] (47.7.28)

工事終了また禁止？

板橋区の高島平団地内の道に“無料駐車場”がある。団地の建設工事がまだ続いていたので、警察は(中略)、

これまでこの路上駐車を黙認してきた。(中略)が、工事の一段落したいま、警察は「そろそろ駐車禁止にする」といい出した。

[団地パワーが“ストライク” 日野のボウリング場建設] (47.8.18)

会社、確認申請取下げ 1年の反対実る

日野市南平の都営住宅団地近くに建設が予定されていたボウリング場に対し、同団地住民たちは「生活環境が破壊される」として自治会を中心に約1年間にわたって反対運動を続けてきたが、企業側はこのほど、都に出していた建築確認申請を自発的に取下げたことを明らかにした。

[“足なし団地”に足を足す 来年度16団地] (47.8.29)

開発者がバスを買う 赤字だったら国も補助 家賃にハネ返しそう

[団地受難] (47.9.4)

(中略)ユメにまでみた公団アパートに、やっと入居できた。それが、どうだ。いいかげんな工事から、おちおち寝てもらえない。かと思うと、都心に近くて便利この上なしだが、保育所への配慮がなっていない。(中略)一みせかけの繁栄のかけで、おびたしい数の都民が、安んじて暮せる住いを求めて、きょうも、切実な声をあげる。

高島平 やむなく親子別居も 働く夫婦、保育所増設を訴え

町田木曾 シックイがはげ落ちる天井 窮余の策…ベニヤ張る

[団地の子らに動物を“出前”] (47.10.2)

コンクリートの壁に囲まれて暮す団地の子どもたちに、ほんものの生物を“出前サービス”しようと、1日、江東区大島6丁目の公団大島団地で「団地めぐり小鳥動物園」が催された。

[朝夕に軽く“障害物競走” 高島平団地住民] (47.11.8)

横断歩道に分離帯が突出る つまづくし…車にもヒヤリ

板橋区高島平団地の人、毎日、「障害物競走」をしている。(中略)出勤の夫は、ここをまたぎ、見送りの妻は乳母車をかかえて、渡る。都建設局のお役人は「歩道橋のできるまでの、仮の歩道だ。橋ができれば、分離帯が必要になる」と、現状維持の方針だ。

[“浸食宅地”ここまで] (47.11.17 夕刊)

高圧鉄塔 団地に押出され“疎開” 神奈川

(中略)かつては、人家から遠く離れていた鉄塔も、最近では、団地や住宅街などにかかえ込まれるありさま。

「高台の貯水タンク不安」住民に“気持悪い料” 和歌山

「危険で不安だ」と高台への貯水タンク建設に反対していた高台下の住民に、和歌山市水道局が「気持ち悪い料」として、100万円を支払っていたことが、17日、わかった。

[欠陥バルコニー直せ 鶴川団地] (47.12.6)

住民、放置怒り直談判 公団側やっと修理約束

[これでは住めない 成田ニュータウン] (47.12.17)

通勤も買物も足がない たまりかね署名運動 中心街へ出るバスは1日1本

[競争率 0.3 倍 公団の幸手団地 (第 2 次)] (48. 2. 13)

住宅難といっても不便は敬遠 通勤には 1 時間半 “仮住い” の限界を越す？

(中略) 住宅難の続くなかでの珍現象—戸数—辺倒の団地づくりが転換期にきていることを示しているようだ。

不人気団地は幸手ばかりでなく続々…。住宅公団関東支所は、現在、応募者のいない空家を 5400 戸もかかえている。(中略) 都心まで時間がかかるというばかりでなく、帰りが少し遅れると「電車の時間待ちが長い」「駅発の終バスは出たあと、タクシーもめったにこない。自宅まで数 10 分間歩くだけ」などのかたちで通勤者の負担になってくる。(中略) 賃貸住宅は“仮住い”。家賃負担と通勤の負担を天びんにかけ、「家賃が多少高くても都心に近い木造アパートの方がむしろいい」という感情が働くのだという見方もある。

[“陸の孤島” に総合病院のメド 多摩ニュータウン] (48. 2. 17)

「もう安心 夜の急病人」 都と医師会がやっと合意

夜間は“無医地区” だった多摩ニュータウンに、やっと総合病院ができる運びとなった—

[高島平団地に保育所パニック 板橋] (48. 2. 18)

親子別居 155 組も ゼロ歳児 75% あぶれる 区が誤算、あわてて増設へ

(中略)「家賃が高いから、若い人たちの入居は比較的少ないはず」と判断した区の誤算が原因だが、家賃が高ければ高いなりに、子どもを預け、共働きをしてでもはいらなければならない住宅不足が背景にある。

[1 人の地主に 28 億円 土地買収で住宅公団] (48. 4. 5)

多摩ニュータウン造成 個人では空前の額

[庶民の悩み…1078 倍 大和上北台団地] (48. 5. 10)

安さ・緑・太陽に殺到 都公社の分譲申込み

東京・高田馬場から西武新宿・拝島線で 50 分、さらにバスで 4、5 分に分譲宅地に、1 区画最高、1078 倍という申込みが殺到した。(中略) 交通の便はよくないが、分譲価格は 1 平方メートル当り 35000 円前後で、付近の民有地より 4 割も安く、緑が多いことも人気を呼んだ。

[公団不正入居] (48. 5. 23)

摘発のシステムはない 立退き要求も裁判通じて

公団はどういう方法で不正入居をチェックしているのだろうか。結論から先にいうと、組織的、継続的に不正を摘発するシステムは、公団にない。(中略) こうして、ことばは悪いが“密告”が公団にとって最大の情報源となる。

[取り替え費で熱い対立 団地のふろガマ] (48. 9. 11)

全額負担はヒドイ 居住者 公団 入居時の契約に明記

耐用年数がきたふろガマの取り替え費用をめぐって、東京周辺の住宅公団の団地で不満が高まっている。

[ペア住宅か 4DK がほしい 住宅公団のアンケート] (48. 9. 14)

お年寄り同居望む団地住民

首都圏の団地住民の多くは「老人と家族が隣合わせに住むペア住宅団地の建設か、4DK 以上の部屋を」と望んでいることが、13 日発表された住宅公団のアンケート調査でわかった。ところが、こうした公団住宅は

ほとんどゼロ。(中略)調査は東京の30キロ圏,多摩,神奈川,千葉,埼玉の11団地で,老人がいそうな計1300戸の賃貸公団住宅の人々を対象に行われた。老人と同居しているのが75%で,老人の平均年齢は67.4歳。

[庶民の夢かう裏口分譲 大阪府造成千里ニュータウン] (48.10.6)

幹部らがコネやカオ 100余区画,転売で暴利も

(中略)一般分譲では平均300倍,最高1200倍の競争率だったのに,裏口分譲は無抽選で,しかも格安。1年後に転売,ちゃっかり1200万円もの利ザヤをかせいだ例もある,という。

[千里ニュータウンの裏口分譲] (48.10.11 夕刊)

「泉北」でもお手盛り

千里ニュータウンの宅地裏口分譲事件は,ついに泉北ニュータウン(堺・和泉市)に波及,大阪府の外郭団体,財団法人泉北開発センター(中略)が,府の幹部職員に“特別分譲”した疑いの強いことが明らかとなった。

[親子を同じ団地に] (48.10.17 夕刊)

住宅公団が来年度から採用方針 “セット入居”どうぞ 入居時に希望聞く

[住宅公団係長が不正入居] (48.11.4)

3ヵ所を独り占め 賃貸・分譲・特別分譲 投機的な疑いも

[公園・広場に彫刻 建物には壁画を 多摩ニュータウン] (48.11.12)

芸術家たち乗り出す

コンクリートの町,多摩ニュータウンにうるおいを,と多摩市の芸術家グループ,多摩美術協会(中略)は「彫刻のまち」と「壁画のまち」の町づくり運動に乗り出し,多摩市などに働きかけている。

[欠陥団地はもう許せぬ 住民,公団と大衆団交] (48.11.23)

(中略)雨もり,ひび割れ,落下バルコニーなどの欠陥で,これまで団地ごとに公団と個別交渉してきたが,補修工事や補償が進まないの,集団交渉で局面を打開しようというねらい。

[広がる宅地 届かぬ速達] (48.12.12)

人口急増でも区域外 郵便局は「人手がない」

「住宅がこんなにたくさんあるのに速達を配達してもらえないとは」—“速達配達区域外”という封書に押された朱印をみて,東京,大阪,名古屋など大都市近郊の住民からの苦情が,このところ強まっている。

(つづく)

(にしわき かずひこ 文化創造学科教授・近代文化研究所所員教授)